

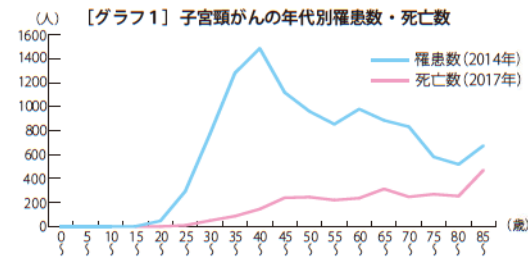
# 近年、若い女性に多い「乳がん」と「子宮頸がん」 女性の検診を受けましょう

20代後半以降から増える「子宮頸がん」

近年、39歳以下の日本人女性で、子宮頸がんの罹患や死亡が増えています(グラフ1)。20〜30歳代の若い女性では、乳がんに次いで多いがんです。

子宮頸がんの罹患には、その多くにヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が関連しているとされています。HPVはごくありふれたウイルスで、性交渉の経験がある女性の50〜80%はHPVに感染している可能性があり、子宮頸がんに罹患する危険性があります。早期のうち、ほとんど自覚症状がないため、2年に1度、検診を受けることがとても大切です。

子宮頸がんは、早期発見・治療で90%以上が治ります(※1)。

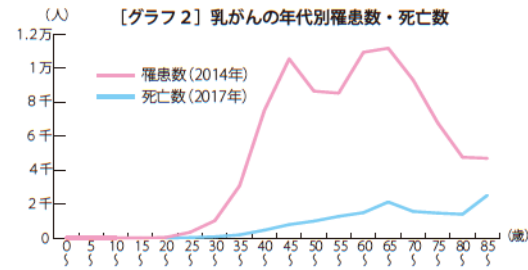


11人に1人がかかるといわれている「乳がん」

乳がんは、女性に一番多いがんで、40〜50歳代をピークに罹患や死亡が増加しています。日本人女性の約11人に1人が乳がんにかかる危険性があり、子育てや介護、仕事など女性として一番忙しい時期にかかりやすい病気です(グラフ2)。

乳がんは、乳房に固いしこりをつくる病気です。しこりを感じなくても、乳頭から血液が出てきて見つかることもあります。月に1回以上、入浴をする際などに自己触診をする習慣をつけ、異常が見られたらすぐに「乳腺科」を受診しましょう。また異常が見られなくても、2年に1度は必ず検診を受けましょう。

乳がんは早期発見・治療で95%以上が治ります(※2)。

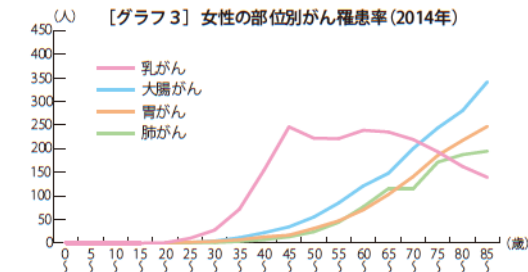


※1:2 ここでは「治るとは、診断時から5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。

がんの多くは、高齢になるほど罹患しやすくなります。そのため、若い女性にはあまり関係のない病気だと思われがちですが、女性特有のがんは若年層化が進み、20〜40歳代で罹患するケースが急増しています。

異常がなくても、2年に1度は必ず検診を受けましょう。

問い合わせ 健康推進課 大隅 ☎(23) 0024



【出典】クラフター(国立がん研究センターがん情報サービスがん登録・統計)

## 女性の検診が変わります

①生まれ年に関係なく受診が可能になります  
本年度から、乳がん検診・子宮頸がん検診は、生まれ年に関係なく、ご自身にとって2年に1度の検診に変更します。例えば、令和元年度に受診できなかった場合、令和2年度に受診できます。

- ▶子宮頸がん 20歳以上は2年に1度
- ▶乳がん 40歳以上は2年に1度 (マンモグラフィ検査)



②無料クーポン券を配布します  
20歳の人には子宮頸がん無料クーポン、40歳の人には乳がん検診無料クーポンを受診券に同封して送付します。

- 【令和2年度無料クーポン対象者】
- ▶子宮頸がん 平成11年4月2日〜平成12年4月1日生まれ
  - ▶乳がん 昭和54年4月2日〜昭和55年4月1日生まれ

③託児を利用できる日があります  
婦人科集団(乳がん、子宮頸がん)検診の際に、託児を利用できます。利用人数には限りがありますので、希望する場合は、早めに予約をお願いします。

- 【託児利用できる日 (いずれの日も午前・午後)】
- ▶8月11日(相良保健センター) ▶9月16日(総合健康福祉センターさざんか)

④女性の総合がん検診が始まります  
婦人科集団検診とは別に、がん検診と婦人科検診を同日で受診することができます。完全予約制のため、約1時間で、すべての検診を受診することができます。

- 【日程 (いずれも午前・午後)】
- ▶8月13日(相良総合センターい〜ら) ▶8月15日(榛原文化センター)
  - ▶9月23日(地頭方原子力防災センター「ジーボ」 \* トーク地頭方向かい)
- 【検診内容】

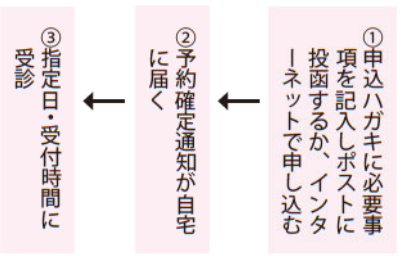
	検診名	対象年齢 (令和2年3月31日時点)	自己負担金
がん検診	胃がん検診 (午前のみ)	35歳以上	1,900円
	結核・肺がん検診	40歳以上	無料
	大腸がん検診	40歳以上	1,000円
婦人科検診	乳がん検診 (マンモグラフィ検査)	40歳以上で前年度に受診していない人	2,000円
	子宮頸がん検診	20歳以上で前年度に受診していない人	1,900円
	骨粗しょう症検診	40歳以上	1,300円(※)

\* 40、50、55、60、65、70歳の方は、1,300円で受診可能です。それ以外の方は、2,750円です。

女性の総合がん検診・婦人科集団検診の予約方法

婦人科検診の受診券に同封されている申込ハガキまたはインターネットで申し込んだください。受診券が手元にならない人は、健康推進課まで問い合わせてください。

受診までの流れ



※新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の検診の日程などが変更になる可能性があります。変更があった場合は、個別通知やホームページなどでお知らせします。